

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でらび〜		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 2 月 1 日 ~ 令和 7 年 1 月 31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 2 月 1 日 ~ 令和 7 年 1 月 31 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 7 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【安心して預けることができる】 重心の医療的ケア児を預かっている実績がある。 専門職の数が多し。 生活介護と併設していて、施設内に職員が多数在籍している。	ケアについてご家族からしっかり伝達していただく。 何かいつもと違うことがあればすぐにご家族に連絡する。 (勝手に判断して、ケアを行わないで相談する) ケアの目的を明確にし、ご家族に報告する。 見通しをたてた支援内容をご家族に説明する。	現支援の徹底。 保護者との情報共有をしっかりとし、チームでの共有も確実に 行っていく。
2	【個別ケア、集団療育、両方受けられる】 給食のミキサー食対応(胃ろう、経口) 摂食訓練、リハビリ 医療機関、みはら園、富士特支、相談などと連携を積極的 に行っている。 多職種で支援している。	各家庭と医師と連携をとれるように工夫している。 必要な場合には、情報ノート、動画を撮り保護者と共有、 病院との連携も随時行っている。	現支援の徹底。 保護者との情報共有をしっかりとし、チームでの共有も確実に 行っていく。
3	【行事や療育が充実している】 広見公園が近くにある。	「季節を感じる」「様々な経験すること」「成長発達に 沿って療育を行うこと」を意識しチームで療育の方向性を話し 合っている。	現支援の徹底。 その都度子供に合わせた支援を検討していく。 地域の最新情報をチェックし、取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育の時間が限られている。	医療的ケアのある方が多く、個別のケアが多い(吸引、姿勢管 理、午睡など) 訓練や受診などで遅刻してくる利用者もいる。 保護者と情報共有するのに時間がかかる。	事前準備をしっかりとしておく。 週間予定など先の予定を立てておく。 家庭の状況などで必要な場合は家庭訪問する。
2	あまり外出ができない	医療的ケアのある方が多く、個別のケアが多い(吸引、姿勢管 理、午睡など) 外出するためには人手が必要 訓練や受診などで遅刻してくる利用者もいる。 気候が穏やかな時でない、利用者さんに負担がかかる。	1日の利用のメンバーをグループに分け、出かけるグループと 残るグループとに分ける。 週間予定など先の予定を立てておく。
3	個室対応が難しい。 (感染症疑うときなどの隔離)	障害特性として全体を見渡せるような施設のつくりにな っているため	感染症を疑う場面では、面談で使用する和室なども利用して 極力他利用者と離して、保護者の迎えを待つ。